

05 入山川の河川整備について

渡辺 入山川は、平成3年の台風12号を契機に改修が始まり、下流の宮川合流点から順次改修が進められ、中央自動車道付近まで整備が終わっている。

この入山川の上流は改修が進んでおらず、川沿いには家屋が点在しており、小さな橋梁も多数存在していることから、台風などの大雨が護岸を超え、いつ住宅地を襲うかとの不安を住民は常に感じている。

県ではこの区間の計画などについて、地元と協議をしていると聞いているが、狭小な河川断面を広げるなど河川整備の要望が強く、早期の事業着手が望まれる。

また、この河川整備により住民生活の安全性の向上のみならず、橋梁の統廃合や管理用通路が設置されることにより、住民生活の利便性向上や観光振興に資する効果も大きく期待できると考えている。

そこで、入山川の河川整備について、現状と今後の予定を伺う。



県土整備部長 入山川は、住宅地を流下する急流河川であり、県では平成7年度から抜本的な改修に着手し、平成26年度までに下流側の約600メートル区間の整備が完了している。更に上流に向け整備を進める浅間橋付近までの約300メートル区間については、河川の管理用通路が周辺住民の生活道路としても活用されることから、地元の要望を聞きながら、安全で利用しやすい構造となるよう検討を重ねてきた。

これまでに地域や関係機関との協議が整い、設計も概ね完了したため、明年度から国の交付金を活用して事業の進捗を加速させ、一日も早い完成を目指していく。

06 やまなしパワーPlusについて

渡辺 「やまなしパワー」は、本年度から割引率等の拡大に加えて、CO₂の排出削減に取り組む企業に向けた環境価値メニュー「ふるさと水力プラン」を新設し、「やまなしパワーPlus」として事業が継続された。

しかし、「やまなしパワー」の運営開始と同時に始まった電力の小売全面自由化を背景に、安価な電力の供給を行う事業者が増え、当該事業を取り巻く環境は厳しくなっていると聞いている。また、新設された「ふるさと水力プラン」については、周知や理解が進んでいないとも感じている。

得られた利益を子育て支援や教育の充実に向けた事業を通じて、県民に還元する「やまなしパワーPlus」の利用促進に向け、更なる工夫が必要であると考えている。現在の状況と利用拡大に向け今後どのように取り組んでいくのか伺う。

公営企業管理者 やまなしパワーPlusは、11月末現在で354社の事業所に対し、本年度予定供給量の約7割にあたる2億6千万キロワットアワーを供給している。

今般、やまなしパワーPlusの募集要件を見直し、基本プランについては、既存企業の対象業種を拡大することとし、製造業、農畜産物生産施設に加え、物流業や旅館・ホテル業を新たに追加したうえで、明年1月から改めて募集していく。

ふるさと水力プランについてもこれまで単年契約で募集していたが、長期型のメニューを追加するとともに年間を通し受け付けを行っていく。

今後も、共同事業者である東京電力の営業網を活用したPRも含め、関係団体及び企業への周知活動を強化していく。



07 食育の推進と栄養教諭の配置促進について

渡辺 子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが求められている。食育の中では、食を通じて地域などを理解することや食文化の継承を図ることなども重要と言われている。

まず、県では学校における食育の推進にどのように取り組んでいくのか伺う。

また、学校給食の現場には栄養教諭や学校栄養職員が配置されているが、学校栄養職員は食に関する指導についてサポート的な立場であることから、すべての学校栄養職員を学校内での食育の要となる栄養教諭に移行させていくことが必要と考えている。

栄養教諭の配置促進について県ではどのように取り組んでいくのか、併せて伺う。

教育長 学校における食育の推進については、平成29年度から全ての公立小中学校において、野菜等の栽培活動を通じて食べ物の大切さを学ぶ機会や地元の特産品を使った献立の作成などに取り組む「食育推進一校一実践」を各校の食育に関する課題に応じて実施している。また、本年7月からは子どもたちに朝食を摂る習慣を身につけてもらうため、時間がかからず、簡単に調理ができる主食やおかず等の34品目を「簡単朝食はんしんぴ」としてホームページで紹介している。

栄養教諭の配置については、平成22年度から2度の5箇年計画を実施し、これまでに53名の栄養教諭を採用した。県では令和6年度には全ての学校栄養職員を栄養教諭に任用替えることを目標としている。今後も計画的に栄養教諭を配置し、子どもたちへの食育の更なる充実につなげていく。



■中央道富士山看板設置要望 (2019年10月21日)



■第4回富士吉田杓子山ハノラトレイルラン大会 (2019年11月3日)



■山梨県消防協会富士五湖支部 秋季総合防災訓練 (2019年11月3日)



■第67回富士吉田市文化祭記念式典 (2019年11月3日)



■千代田区立麹町中学校 視察 (2019年12月20日)



渡辺淳也

わたなべじゅんや

山梨県議会議員



渡辺淳也 委員長

県議会
レポート

Vol.10 2020.02



Dreams

Yamanashi Prefectural Assembly deputies

富士吉田市と山梨県の夢を実現するために

昨年は、時代が平成から令和へと変わった節目の年でありましたが、自然災害の多い年でもありました。特に、台風19号の被害は全国各地で甚大なものでありました。被災された方々に対しまして心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

また、昨年の富士山の夏山シーズンでは、落石により登山者が亡くなられた事故や複数の山小屋が被害を受ける事故が発生し、富士山は危険な山であることを強く再認識させられました。特に、落石による山小屋への被害は、登山シーズンの終盤であったため登山者も少なく、幸いにも人的被害はありませんでした

が、もし登山者の多い時期であったならば、大惨事になっていたかもしれない事故でした。

このことを受けて、昨年の11月1日には、富士山の安全な登山を確保するための指導を行う富士山安全指導センター運営協議会から、富士山の落石に対する要望書が提出されたところであります。この要望書に記載された富士山の落石対策が、早期に実施されることを県に対して引き続き要望して参ります。

12月の定例県議会におきましても、富士山火山対策の取り組み、富士・東部地域における小児救急医療提供体制の拡充、入山川の河川整備などの様々な県政課題について一般質問しました。その質問と答弁の要旨をお届けしますので、皆様のご意見をお待ちしております。



Profile

- 1978年7月5日…富士吉田市生まれ
- 2015年 4月…山梨県議会議員 初当選
- 2015年10月…自由民主党山梨県支部連合会 青年部長
- 2019年 4月…山梨県議会議員 2期目当選
- 2019年 5月…山梨県議会 教育厚生委員長
- 2019年10月…自由民主党山梨県支部連合会 青年局長

山梨県議会議員 **渡辺淳也**